



テイクアウト & デリバリーMAP 商議所らが共同公開

市、いわき商工会議所、いわきFCは七月一日、「いわき支えあい！テイクアウト&デリバリーMAP」QRコード下を共同で公開した。

同マップは、コロナ禍で影響を受ける飲食関連事業者の応援を企図し、テイクアウトや配達サービスを行う店舗を紹介する。神奈川県のレストランチーム横浜FMが実施し、好評を得ている先行事例をモデルに



企画された。

米グーグル社の地図表示システムを利用し、各店で実施中のサービス、営業時間、電話番号、HPへのリンク、アピールポイントなどが誰でも閲覧可能。商議所は、「店舗からだけでなく、利用者からの情報提供も

人、まち ニュース

受け、掲載していく。いわきFCの情報発信力を借りて、市内のほか、来市したアウェーサポーターの利用も促進していきたい」と、語っていた。

同MAPのアクセスは、<https://bit.ly/2UFdmIR>から。

宇佐美登氏が市長選立候補

九月五日投票で実施されるいわき市長選挙に伴い、元衆議院議員の宇佐美登氏（五四）が六月二十五日、平で記者会見し、立候補を表明した。

宇佐美氏は、東京出身。早稲田大学理工学部卒。松下政経塾を経て、武村正義代議士の秘書などを務めた後、旧東京二区から衆議院選に出馬、当選、二期務めている。

東日本大震災後は父親の故郷であるいわきに居住。この間、二〇一三、二〇一七年の二度、



立候補を表明した、宇佐美氏

同市長選に出馬したが、落選している。

記者会見で宇佐美氏は、「一人ひとりが安心できるまちづくり」をスローガンに掲げ、「医療・福祉」「子育て・教育」「経済・観光」「行政サービス」「災害」の五つのテーマで政策を発表した。

今回の市長選には、現職の清水敏男氏（五七）、元文科省教育改革推進室長、東日本国際大・地域振興戦略研究所長の内田広之氏（四九）、元常磐共同ガス

とした。

◎：昨年の六月から西森徹治料理長がこだわり抜いて「上品な味」として開発してきた。出産祝い、節句祝い、入学・卒業祝い、還暦・長寿祝いなどの記念日や贈答用品として利用されている、という。

◎：同商品は、テイクアウト（電話で予約受け付け）、仕出し・配送、同式場のウェブストアで販売中。問い合わせは、同式場（電話五八―五五五）まで。

◎：「ごちそう鯛（たい）めしセット」（一人前）税込み三千五百円）が好評だ。

◎：同社は、鮮魚店をターゲットに、仕出し業を経て、結

いわやが鯛めしセットを販売中

記念日、贈答品に

◎：「ごちそう（ちそう）」を料理の原点として事業を展開している鹿島町、総合結婚式場パレス「いわや」のテイクアウト

結婚式場へと事業を展開。テーブルに乗る各種の料理には、創業以来、七十年余の歴史が詰まっております。市民の間からは「料理のいわや」の声も大きい。

◎：人気の「鯛めしセット」は、冷凍パックにした伝承の「鯛出汁」と「焼き鯛」を同封の無洗米と一緒に炊き込む。メインの鯛は、毎朝市場に水揚げされた中の一歩もの。出し汁には北海道産のコンブと、伊豆半島の熱海から取り寄せたカツオ節の



「鯛めしセット」をPRする西森料理長（左）

ほか、うまみの決め手として直

社長の猪狩謙二氏（五八）の三人がすでに立候補を表明しており、宇佐美氏を合わせ、四人による激戦が予想される。

ロスハム、ベーコン

緑屋で好評発売中



人気の定番商品「手造りロスハム」と、「手造りベーコン」

平谷川瀬、肉の専門店「緑屋」（大塚昌一さん経営）は、中元・贈答用に「手造りロスハム」（百グラム当たり税込み四百六十五円）と、「手造りベーコン」（同三百七十円）を販売中。同商品は、厳選素材を使用し、埼玉県の春日部工場で一本、一本手作りされたこだわりの逸品。コクがあり、通常のハムやベーコンより濃厚な味が楽しめる。

また、夏のスタミナ食に「会津産赤身馬刺」（同八百八十円）を販売しており、低脂肪・高タンパクの健康志向の商品として人気だ。

同店では、「夏の暑い時期、馬刺しを食べて、馬力アップで乗り切ってほしい」と、話している。詳しくは、同店（電話二三―〇一八五）まで。